

浦田秀夫

立憲民主党
The Constitutional
Democratic Party of Japan

プロフィール

千葉県安房郡鋸南町出身

1969年 千葉県立館山高校卒業

元電電公社（現NTT）社員

1987年 船橋市議会議員選挙初当選 現在7期目

現在 船橋市議会副議長

松が丘清和町会会長

松が丘地区社会福祉協議会理事

幸せを
実感できる
まちづくり

浦田秀夫7期の主な実績

中学校給食の実現

船橋方式と言われている弁当と給食の選択、メニューの選択、ランチルームを設置した方式を提言し実現しました。（平成5年）

学童保育の公設・公営化

父母等が運営する劣悪な学童保育の実態を何度も議会で取り上げ、「放課後ルーム」として公設・公営化を実現しました。（平成11年）

子ども医療費の助成拡大

市民から託された1,450人の署名を平成21年3月議会に提出し、議会でも度々取り上げ中学3年生まで助成を実現しました。（平成25年）

「高さ制限制度」の導入

市内各地のマンション紛争を住民と闘い、高層マンション建設を規制する「絶対高さ制限制度」を提言し実現しました。（平成22年）

校舎の耐震改修を促進

平成19年度時点で県内最低レベルであった学校校舎の耐震化の実態を指摘し、その後も議会の度に取り上げ、総工事費243億円を掛けて27年度末まで完了させることができました。

道路・歩道の整備促進

平成18年2月に松が丘バス通りで小学校1年生の児童がバスに跳ねられた痛ましい事故を契機に道路・歩道の整備を促進させました。

また、横断歩道や信号機の設置、スピード制限など交通安全対策に取り組んできました。

学習支援の実現

ひとり親家庭や生活保護世帯など学習環境に恵まれない子どもたちへの学習支援の必要性を訴え実現させました。（平成26年）

水害対策の促進

木戸川や駒込川で発生した水害についても取り上げ、抜本的対策として、河川整備や流域の雨水管整備を求めました。木戸川は平成30年度に完成し、駒込川は現在整備中です。

人間ドック、脳ドック助成の実現

市民の健康をまもるために人間ドック助成制度を平成28年度から、脳ドック助成制度を平成30年度から実現しました。

浦田秀夫と市民の会にご加入ください。

入会申し込み先

自宅 船橋市松が丘4-31-5 電話 466-6019

事務所 船橋市高根台6-38-9 電話 461-1350

幸せを実感できる まちづくり重点政策

① 学校トイレの洋式化を促進

平成 28 年 4 月 1 日の文科省の調査によれば船橋市の学校トイレの洋式化率は 30.2%で、県内 54 自治体中 51 位です。市長は学校トイレの洋式化促進を公約しましたが、平成 30 年度予算計上はゼロでした。学校トイレの洋式化は子ども達に喜ばれ、災害避難時に高齢者も使いやすくなります。

② 生ごみ収集回数は週 3 回に戻す

船橋市は平成 30 年 10 月から生ごみの収集回数を週 3 回から 2 回に変更しましたが、これは子育て世代の反対意見を完全に無視したものです。最低でも夏場は週 3 回に戻すように求めています。

その他の主要な政策

子育て支援・教育

- ① 認可保育園の増設によって保育園の待機児童を解消します。また幼稚園の保育事業への参入を後押しする施策を進めます。
- ② 幼児教育・保育の無償化を促進し、その充実を図ります。
- ③ 子ども医療費の助成を高校 3 年生まで拡大し、学校給食の無料化を進めます。



介護・医療

- ① 介護が必要になっても住み慣れた地域や自宅で暮らせるよう、介護・医療・保健・住まいの充実を図ります。
- ② 特別養護老人ホームを必要とする方々が 2 年も 3 年も待たずに入所できるよう施設整備を進めます。
- ③ 医療センターは高度医療・救急医療の充実を図るとともに、いつでも誰もが受診できる市民病院としての機能を守ります。



③ 人間ドック・脳ドック助成の改善

市民の健康を守るために人間ドック・脳ドック助成制度を実現させましたが、助成額は費用の 3 分の 1 程度です。他自治体なみに費用の 3 分の 2 程度の助成を実現させます。

④ マンホールトイレの整備促進

災害時に一番困るのはトイレです。避難所になっている学校や公園などにマンホールトイレの整備促進を求めています。

⑤ 大型公共工事の見直しで財源確保

福祉や子育て支援の財源を確保するために、大型公共工事の見直しや入札制度の改革、税金の無駄遣いを止めさせます。

防災対策

- ① ゲリラ豪雨による水害を防止するために、河川改修や雨水管整備、貯水池の整備を促進します。
- ② 大震災に備えた、防災備蓄品の整備や実態に即した防災訓練の改善を図ります。

道路・交通

- ① 市民が安心して歩ける歩道、生活道路の整備を促進します。
- ② 北習志野駅周辺の放置自転車対策を地元商店会の協力を得て行います。

環境・エネルギー

- ① 原発のない社会をめざし、再生可能エネルギーの導入・普及を図ります。
- ② 公園・緑地の整備を進め潤いのあるまちづくりを進めます。
- ③ リサイクル・リユース・分別収集の徹底によって資源循環型社会を構築します。



格差是正

- ① 公共事業の末端で働く労働者の労働条件を確保し、公共事業のサービスの質を確保するために公契約条例を実現します。
- ② 公務員、民間を問わず、正規労働者と非正規労働者の格差是正を実現します。